

令和2年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜 全日制の課程

### Ⅲ 数 学

#### 注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は問6まであり、1ページから8ページに印刷されています。
- 3 計算は、問題冊子のあいているところを使い、答えは、解答用紙の決められた欄に、記入またはマークしなさい。
- 4 数字や文字などを記述して解答する場合は、解答欄からはみ出さないように、はっきり書き入れなさい。
- 5 マークシート方式により解答する場合は、その番号の○の中を塗りつぶしなさい。
- 6 答えに無理数が含まれるときは、無理数のままにしておきなさい。根号が含まれるときは、根号の中は最も小さい自然数にしなさい。また、分母に根号が含まれるときは、分母に根号を含まない形にしなさい。
- 7 答えが分数になるとき、約分できる場合は約分しなさい。
- 8 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号

番

問1 次の計算をした結果として正しいものを、それぞれあとの1～4の中から1つ選び、その番号を答えなさい。

(ア)  $2 - (-9)$

1.  $-11$

2.  $-7$

3.  $7$

4.  $11$

(イ)  $52a^2b \div (-4a)$

1.  $-26b$

2.  $-13ab$

3.  $13ab$

4.  $26b$

(ウ)  $\sqrt{28} + \frac{49}{\sqrt{7}}$

1.  $8\sqrt{7}$

2.  $9\sqrt{7}$

3.  $10\sqrt{7}$

4.  $11\sqrt{7}$

(エ)  $\frac{3x-y}{3} - \frac{x-2y}{4}$

1.  $\frac{3x+2y}{4}$

2.  $\frac{9x+y}{6}$

3.  $\frac{9x-10y}{12}$

4.  $\frac{9x+2y}{12}$

(オ)  $(\sqrt{2}+1)^2 - 5(\sqrt{2}+1) + 4$

1.  $2-3\sqrt{2}$

2.  $8-3\sqrt{2}$

3.  $2+3\sqrt{2}$

4.  $12-3\sqrt{2}$



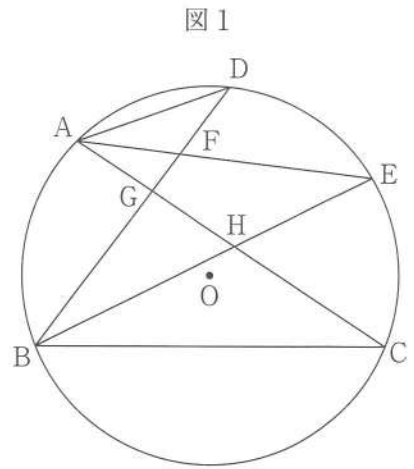
問3 次の問いに答えなさい。

(ア) 右の図1のように、円Oの周上に3点A, B, Cをとる。

また、点Bを含まない $\widehat{AC}$ 上に、2点A, Cとは異なる点Dをとり、 $\angle CBD$ の二等分線と円Oとの交点のうち、点Bとは異なる点をEとする。

さらに、線分AEと線分BDとの交点をFとし、線分ACと線分BDとの交点をG、線分ACと線分BEとの交点をHとする。

このとき、次の(i), (ii)に答えなさい。



(i) 三角形AFDと三角形BHCが相似であることを次のように証明した。, に最も適するものをそれぞれ選択肢の1~4の中から1つ選び、その番号を答えなさい。

【証明】

$\triangle AFD$ と $\triangle BHC$ において、

まず、に対する円周角は等しいから、

$$\angle ADB = \angle ACB$$

よって、 $\angle ADF = \angle BCH$  ……①

次に、 $\widehat{DE}$ に対する円周角は等しいから、

$$\angle DAE = \angle DBE$$
 ……②

また、線分BEは $\angle CBD$ の二等分線であるから、

$$\text{} \dots\dots \text{③}$$

②, ③より、 $\angle DAE = \angle CBE$

よって、 $\angle DAF = \angle CBH$  ……④

①, ④より、2組の角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle AFD \sim \triangle BHC$$

(a)の選択肢

1.  $\widehat{AB}$
2.  $\widehat{AD}$
3.  $\widehat{BC}$
4.  $\widehat{CE}$

(b)の選択肢

1.  $\angle ACB = \angle AEB$
2.  $\angle AHB = \angle CHE$
3.  $\angle CBE = \angle DBE$
4.  $\angle EAC = \angle EBC$

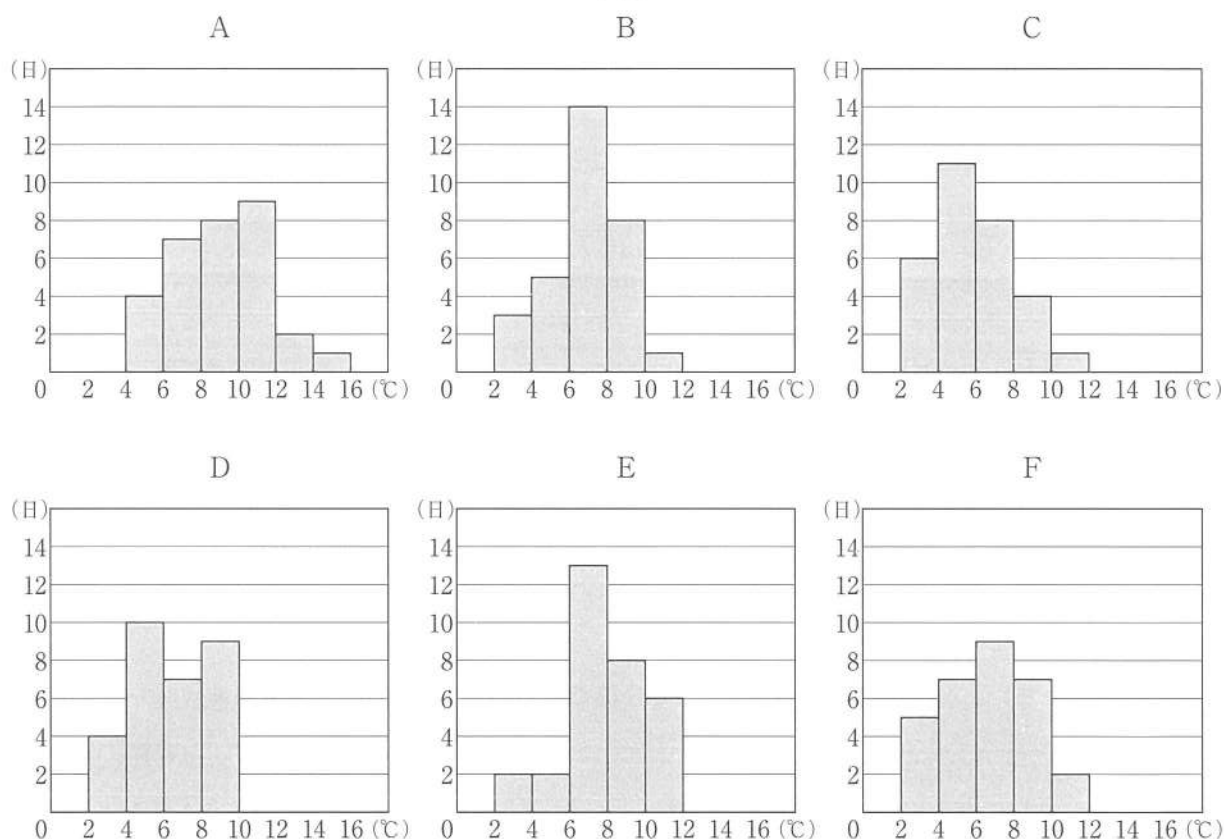
(ii) 8つの点A, B, C, D, E, F, G, Hのうちの2点A, Bを含む4つの点があるが、円Oとは異なる1つの円の周上にある。この円の周上にある4つの点のうち、点Aと点B以外の2点を書きなさい。

(イ) 神奈川県のある地点における1日の気温の寒暖差（最高気温と最低気温の差）を1年間毎日記録し、月ごとの特徴を調べるため、ヒストグラムを作成した。

次の図2のA～Fのヒストグラムは、1日の気温の寒暖差の記録を月ごとにまとめたものであり、1月と11月を含む6つの月のヒストグラムのいずれかを表している。なお、階級は、2℃以上4℃未満、4℃以上6℃未満などのように、階級の幅を2℃にとって分けられている。

これらの6つの月に関するあとの説明から、(i) 1月のヒストグラムと、(ii) 11月のヒストグラムとして最も適するものを1～6の中からそれぞれ1つ選び、その番号を答えなさい。

図2



説明

- ・ 1月には、寒暖差が10℃以上の日はあったが、寒暖差が12℃以上の日はなかった。
- ・ 1月の寒暖差の中央値は、6℃以上8℃未満の階級にあった。
- ・ 1月の寒暖差の平均値は、6つの月のヒストグラムから読み取れる寒暖差の平均値の中で2番目に大きかった。
- ・ 1月、11月ともに、寒暖差が4℃未満の日は4日以内であった。
- ・ 11月には、寒暖差が2.1℃の日があった。
- ・ 11月の寒暖差の最頻値は、4℃以上6℃未満の階級の階級値であった。

1. A

2. B

3. C

4. D

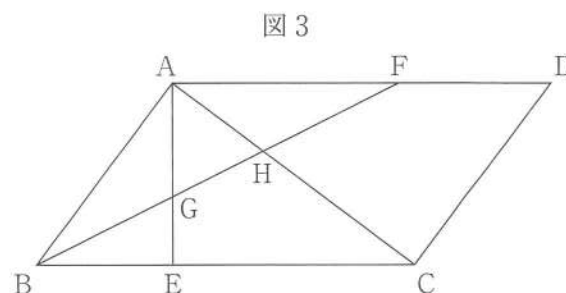
5. E

6. F

(ウ) 右の図3のような平行四辺形 ABCD があり、  
 辺 BC 上に点 E を辺 BC と線分 AE が垂直に交わる  
 ようにとり、辺 AD 上に点 F を  $AB = AF$  と  
 なるようにとる。

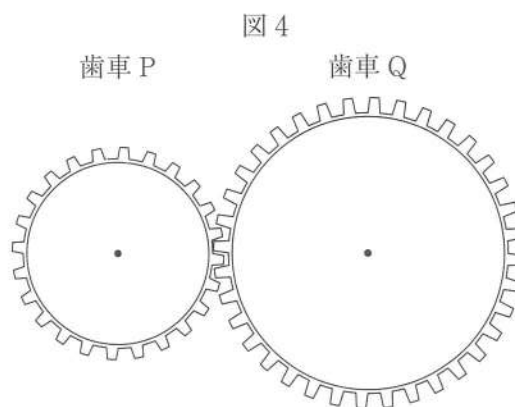
また、線分 BF と線分 AE との交点を G、線分  
 BF と線分 AC との交点を H とする。

$AB = 15 \text{ cm}$ ,  $AD = 25 \text{ cm}$ ,  $\angle BAC = 90^\circ$  の  
 とき、三角形 AGH の面積を求めなさい。



(エ) 右の図4のように、かみあってそれぞれ回転す  
 る歯車 P と歯車 Q がある。歯数が 24 である歯車  
 P を 1 秒間に 6 回転させるとき、歯車 Q の 1 秒間  
 に回転する数が、その歯数によってどう変わるか  
 を考える。

A さんは、歯車 Q の 1 秒間に回転する数につ  
 いて、次のようにまとめた。□(i) にあてはまる  
 数を、□(ii) にあてはまる式を、それぞれ書きな  
 さい。



まとめ

歯車 Q の歯数が 48 のとき、歯車 Q は 1 秒間に 3 回転する。

また、歯車 Q の歯数が 36 のとき、歯車 Q は 1 秒間に □(i) 回転する。

これらのことから、歯車 Q の歯数を  $x$  とするとき、歯車 Q の 1 秒間に回転する数を  $y$  として  
 $y$  を  $x$  の式で表すと、

□(ii)

となる。

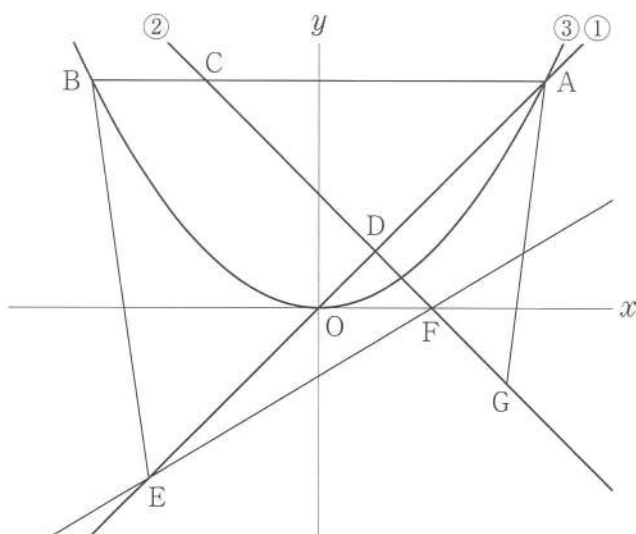
問4 右の図において、直線①は関数  $y=x$  のグラフ、直線②は関数  $y=-x+3$  のグラフであり、曲線③は関数  $y=ax^2$  のグラフである。

点Aは直線①と曲線③との交点であり、その  $x$  座標は6である。点Bは曲線③上の点で、線分ABは  $x$  軸に平行であり、点Cは直線②と線分ABとの交点である。点Dは直線①と直線②との交点である。

また、原点をOとすると、点Eは直線①上の点で  $AO:OE=4:3$  であり、その  $x$  座標は負である。

さらに、点Fは直線②と  $x$  軸との交点であり、点Gは直線②上の点で、その  $x$  座標は5である。

このとき、次の問いに答えなさい。



(ア) 曲線③の式  $y=ax^2$  の  $a$  の値として正しいものを次の1～6の中から1つ選び、その番号を答えなさい。

- |                    |                    |                    |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. $a=\frac{1}{9}$ | 2. $a=\frac{1}{8}$ | 3. $a=\frac{1}{6}$ |
| 4. $a=\frac{2}{9}$ | 5. $a=\frac{1}{4}$ | 6. $a=\frac{1}{3}$ |

(イ) 直線EFの式を  $y=mx+n$  とするときの(i)  $m$  の値と、(ii)  $n$  の値として正しいものを、それぞれ次の1～6の中から1つ選び、その番号を答えなさい。

(i)  $m$  の値

- |                    |                    |                    |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. $m=\frac{1}{3}$ | 2. $m=\frac{2}{5}$ | 3. $m=\frac{4}{7}$ |
| 4. $m=\frac{3}{5}$ | 5. $m=\frac{5}{8}$ | 6. $m=\frac{5}{7}$ |

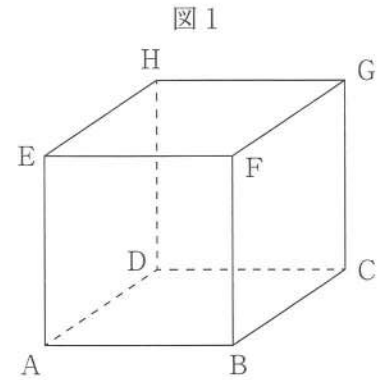
(ii)  $n$  の値

- |                      |                      |                     |
|----------------------|----------------------|---------------------|
| 1. $n=-\frac{15}{7}$ | 2. $n=-\frac{15}{8}$ | 3. $n=-\frac{9}{5}$ |
| 4. $n=-\frac{12}{7}$ | 5. $n=-\frac{6}{5}$  | 6. $n=-1$           |

(ウ) 三角形ADGの面積をS、四角形BEDCの面積をTとすると、SとTの比を最も簡単な整数の比で表しなさい。

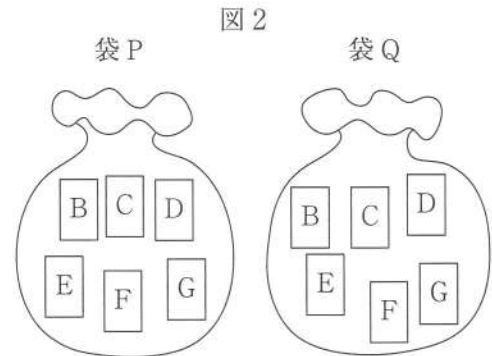
問5 右の図1のように、正方形ABCDを底面とし、 $AE=BF=CG=DH$ を高さとする立方体がある。

また、図2のように、袋Pと袋Qがあり、その中にはそれぞれB, C, D, E, F, Gの文字が1つずつ書かれた6枚のカードが入っている。袋Pと袋Qからそれぞれ1枚ずつカードを取り出し、次の【ルール】にしたがって、図1の立方体の8個の頂点のうちから2個の点を選ぶ。



【ルール】

- ・袋Pと袋Qから取り出したカードに書かれた文字が異なる場合は、それぞれの文字に対応する点を2個の点として選ぶ。
- ・袋Pと袋Qから取り出したカードに書かれた文字が同じ場合は、その文字に対応する点および点Hを2個の点として選ぶ。



いま、図2の状態では、袋Pと袋Qからそれぞれ1枚ずつカードを取り出すとき、次の問いに答えなさい。ただし、袋Pと袋Qそれぞれについて、袋の中からのどのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

(ア) 選んだ2個の点が、ともに平面ABCD上の点となる確率として正しいものを次の1～6の中から1つ選び、その番号を答えなさい。

1.  $\frac{1}{36}$

2.  $\frac{1}{18}$

3.  $\frac{1}{12}$

4.  $\frac{1}{9}$

5.  $\frac{5}{36}$

6.  $\frac{1}{6}$

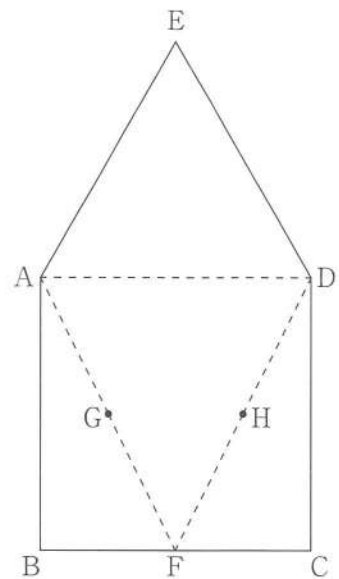
(イ) 選んだ2個の点および点Aの3点を結んでできる三角形について、その3つの辺の長さがすべて異なる確率を求めなさい。



問6 右の図の五角形 ABCDE はある三角すいの展開図であり、  
 $AB = BC = CD = DE = EA = 6 \text{ cm}$ 、 $\angle B = \angle C = 90^\circ$  である。

また、点 F は線分 BC の中点であり、2 点 G, H はそれぞれ線分 AF, DF の中点である。

この展開図を 3 点 B, C, E が重なるように組み立てたときの三角すいについて、次の問いに答えなさい。



(ア) この三角すいの表面積として正しいものを次の 1～6 の中から 1 つ選び、その番号を答えなさい。

- |                                    |                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. $(18 + 3\sqrt{3}) \text{ cm}^2$ | 2. $(18 + 6\sqrt{3}) \text{ cm}^2$ | 3. $(18 + 9\sqrt{3}) \text{ cm}^2$ |
| 4. $(36 + 3\sqrt{3}) \text{ cm}^2$ | 5. $(36 + 6\sqrt{3}) \text{ cm}^2$ | 6. $(36 + 9\sqrt{3}) \text{ cm}^2$ |

(イ) この三角すいの体積として正しいものを次の 1～6 の中から 1 つ選び、その番号を答えなさい。

- |                                       |                             |                                       |
|---------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1. $\frac{3\sqrt{3}}{2} \text{ cm}^3$ | 2. $3\sqrt{3} \text{ cm}^3$ | 3. $\frac{9\sqrt{3}}{2} \text{ cm}^3$ |
| 4. $12 \text{ cm}^3$                  | 5. $9\sqrt{3} \text{ cm}^3$ | 6. $18 \text{ cm}^3$                  |

(ウ) 3 点 B, C, E が重なった点を I とする。この三角すいの表面上に、点 G から辺 AI, 辺 DI と交わるように点 H まで、長さが最も短くなるように線を引いたときの線の長さを求めなさい。

(問題は、これで終わりです。)

# Ⅲ 数学 解答用紙 (令和2年度)

氏名

受 検 番 号

## 注意事項

- HBまたはBの鉛筆(シャープペンシルも可)を使用して、○の中を塗りつぶすこと。
- 答えを直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 数字や文字などを記述して解答する場合は、解答欄からはみ出さないように、はっきり書き入れること。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしないこと。

良い例	悪い例		
	線	小さい	はみ出し
	丸囲み	レ点	うすい

①	①	①	①	①	①	①
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

問1	(ア)	① ② ③ ④
	(イ)	① ② ③ ④
	(ウ)	① ② ③ ④
	(エ)	① ② ③ ④
	(オ)	① ② ③ ④

各3点

問2	(ア)	① ② ③ ④
	(イ)	① ② ③ ④
	(ウ)	① ② ③ ④
	(エ)	① ② ③ ④
	(オ)	① ② ③ ④
	(カ)	① ② ③ ④

各4点

問3	(ア)	(a)	① ② ③ ④
		(i)	① ② ③ ④
	(イ)	(b)	① ② ③ ④
		(ii)	* 解答欄は裏面にあります。
	(ウ)	(i)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
		(ii)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	(エ)	(i)	* 解答欄は裏面にあります。
(ii)		* 解答欄は裏面にあります。	

(ア)(a)(b)は各2点、(ii)は3点、(イ)(i)(ii)は各3点、(ウ)は5点、(エ)は5点

問4	(ア)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	
	(イ)	(i)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
		(ii)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	(ウ)	* 解答欄は裏面にあります。	

(ア)は4点、(イ)は両方できて5点、(ウ)は5点

問5	(ア)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	(イ)	* 解答欄は裏面にあります。

各5点

問6	(ア)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	(イ)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	(ウ)	* 解答欄は裏面にあります。

(ア)は4点、他は各5点

氏名	
----	--

受検番号			
------	--	--	--

問3 (ア)(ii)	点  と点 
------------	--

問3 (ウ)	cm <sup>2</sup>
--------	-----------------

問3 (エ)	(i)	(ii)
--------	-----	------

問4 (ウ)	S : T = :
--------	-----------

問5 (イ)	
--------	--

問6 (ウ)	cm
--------	----

### Ⅲ 数 学 正答表並びに採点上の注意 (令和2年度)

問 1	(ア)	4	3点
	(イ)	2	3点
	(ウ)	2	3点
	(エ)	4	3点
	(オ)	1	3点

問 4	(ア)	3	4点	
	(イ)	(i)	4	両方 できて 5点
		(ii)	3	
	(ウ)	$S : T = 7 : 19$	5点	

問 2	(ア)	2	4点
	(イ)	4	4点
	(ウ)	2	4点
	(エ)	1	4点
	(オ)	3	4点
	(カ)	2	4点

問 5	(ア)	6	5点
	(イ)	$\frac{4}{9}$	5点

問 6	(ア)	6	4点
	(イ)	5	5点
	(ウ)	$\left(3 + \frac{3\sqrt{3}}{2}\right)$ cm	5点

問 3	(ア)	(a)	1	2点
		(i)	3	2点
		(b)		
	(ii)	点 F と点 H	3点	
	(イ)	(i)	5	3点
		(ii)	4	3点
	(ウ)	$\frac{45}{2}$ cm <sup>2</sup>	5点	
	(エ)	(i)	4	5点
(ii)		$y = \frac{144}{x}$		

## 採点上の注意

### 【問題全般について】

- 中間点は、問3(エ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 正の数については、+の符号をつけても可とする。
- 多項式の項の順序、積の順序は入れかわっても可とする。
- 有限小数で表される分数は小数で表しても可とする。循環小数になるものを有限小数で表したもののや、「…」を用いて表したものは不可とする。

### 【中間点のある記述問題について】

- 問3(エ)について
  - ・ (i), (ii)の内容がそれぞれ正しく記述されていれば、正答として5点を与える。  
なお、次の得点項目において中間点を与えるものとする。
    - 得点項目A (i)について正しく記述されていて、2点を与える。
    - 得点項目B (ii)について正しく記述されていて、3点を与える。
  - ・ したがって、中間点は2点または3点のいずれかとなる。
  - ・ 正答例以外の解答については、上記に準じて点を与える。